

# 令和3年度 大阪ふれあいおりがみ等使用実態調査まとめ

## 1. 調査期間

令和3年10月15日（金）（おりがみに同封）から12月17日（金）まで

## 2. 各設問の結果まとめ

有効回答件数 237校（回答率：約23%）

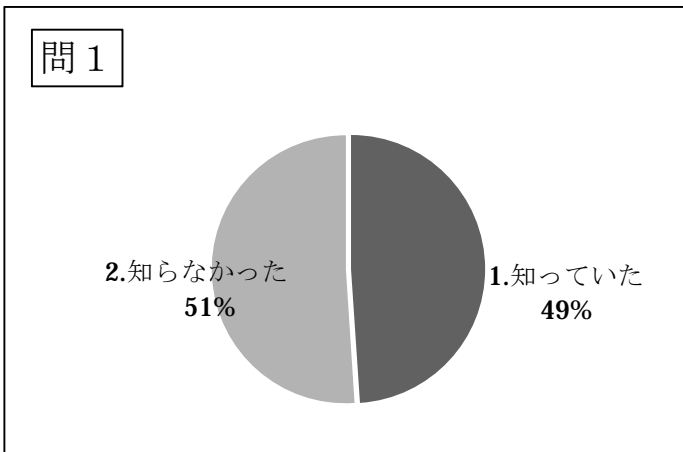
※使用実態調査配布：府内小学校1,033校（国・公・私立、支援学校含む。）

- 〇 ふれあいおりがみを知っている割合は 49%（令和2年度 58%）
- 〇 ふれあいおりがみの使用割合は 98%（令和2年度 98%）
- 〇 ふれあいすごろくを知っている割合は 45%（令和2年度 55%）
- 〇 ふれあいすごろくの使用割合は 92%（令和2年度 87%）

※各設問ごとの%は、四捨五入のためその合計値が100にならない場合があります。

### 【大阪ふれあいおりがみについて】

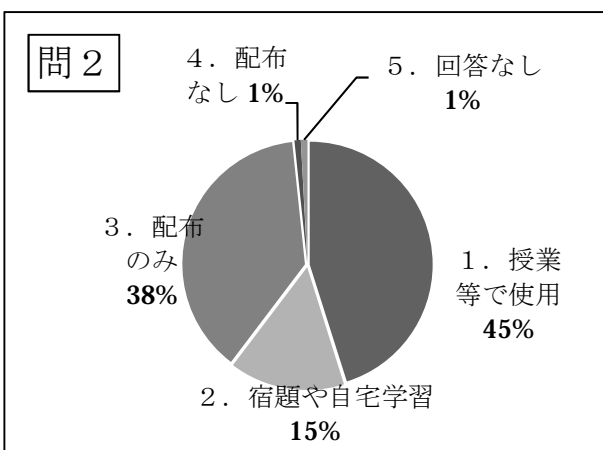
問1 「大阪ふれあいおりがみ（以下、おりがみ）」をご存知でしたか



① 知っていた	116 件	49%
② 知らなかった	121 件	51%
③ 回答なし	0 件	0%

おりがみを「知っていた」という回答が約半数の49%となっており、一定の周知が図れていると考えられる。（令和2年度 58%）

問2 おりがみを使用されましたか（使用される予定ですか）



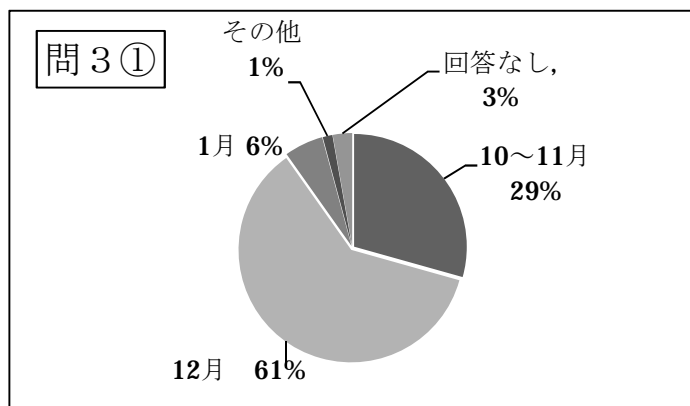
① 授業等で使用	107 件	46%
② 宿題や自宅学習	36 件	15%
③ 配布のみ	90 件	38%
④ 配布なし	2 件	1%
⑤ 回答なし	2 件	1%

使用割合は配布のみも含まれるが、98%となっており、大多数の生徒の手元に届いていると考えられる。（R2年度:98%）

問3（問2で、「1」または「2」と回答いただいた方）

① いつ、②何の授業や教科で、③どのように使用されましたか（されますか）④障がいに関する子どもの理解度は上がったと感じますか。（全体 143件）

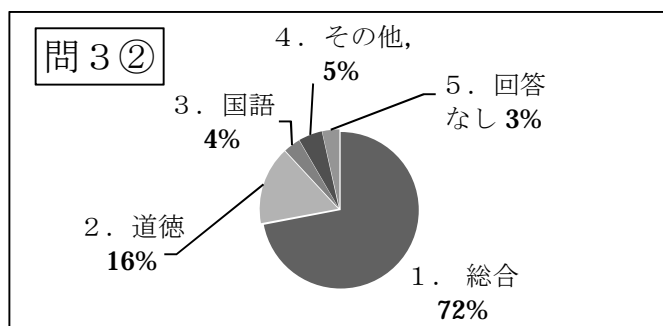
①いつ



① 10~11月	42件	29%
② 12月	87件	61%
③ 1月	8件	6%
④ その他	2件	1%
⑤ 回答なし	4件	3%

「12月」が最も多かった。おりがみ送付時に同封している送付文の内容にもとづき、「障がい者週間（12月3日～9日）」、及びその前後に活用されていると思われる。その他は、「授業時間が足らず、3学期に取組む」という回答であった。

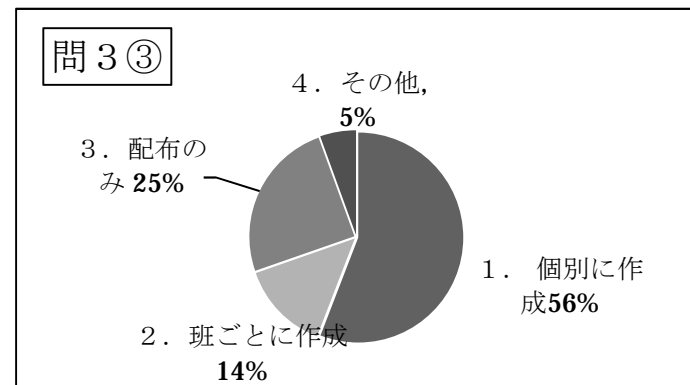
②何の授業や教科で



① 総合的な学習	103件	72%
② 道徳	23件	16%
③ 国語	5件	4%
④ その他	7件	5%
⑤ 回答なし	5件	3%

「総合的な学習」が最も多く、その次に「道徳」と続いた。その他としては、「学活」「図工」等の意見があった。

③どのように



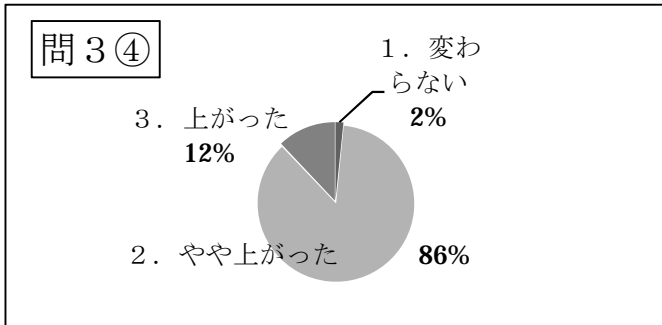
① 個別に作成	81件	56%
② 班ごとに作成	20件	14%
③ 配布のみ	36件	25%
④ その他	8件	5%

※重複回答あり

「③その他」としては、次のような回答があった。

- ・班形態にして個別で作成
- ・先生から説明し、ユニバーサルデザインやバリアフリーについて調べた

④障がいに関する子どもの理解度は上がったと感じますか。

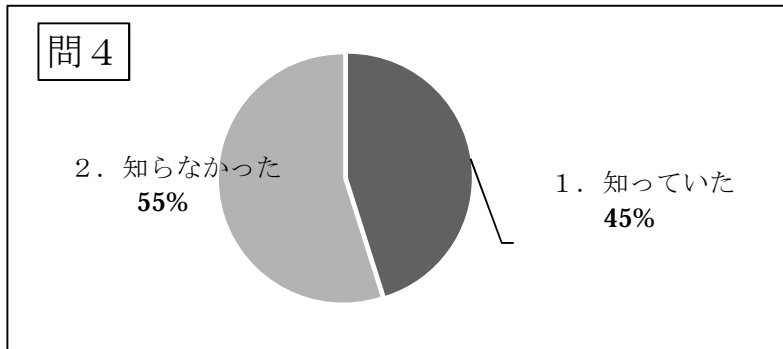


① 変わらない	2 件	2%
② やや上がった	126 件	86%
③ 上がった	15 件	12%

・「上がった」「やや上がった」という回答が98%と、障がいに対する理解度は一定程度向上したと考えられる。

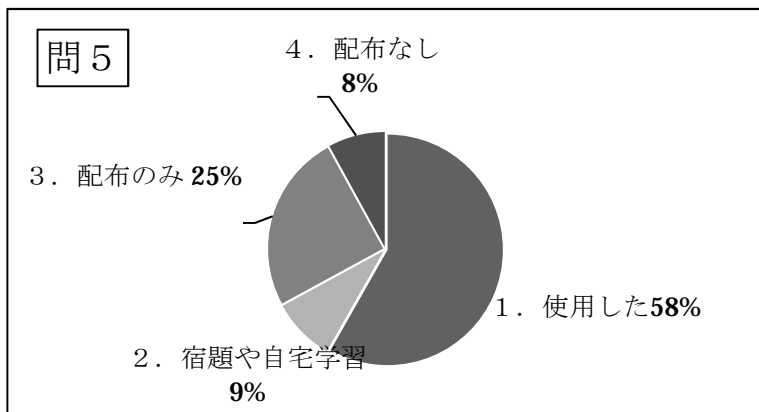
【大阪ふれあいすごろくについて】

問4「大阪ふれあいすごろく（以下、「すごろく」と記載）」をご存知でしたか



① 知っていた	108 件	45%
② 知らなかった	129 件	55%

問5 すごろくを使用されたことがありますか（使用される予定ですか）



① 授業等で使用	138 件	58%
②宿題や自宅学習として配布	21 件	9%
② 配布のみ	59 件	25%
③ 配布しない	19 件	8%

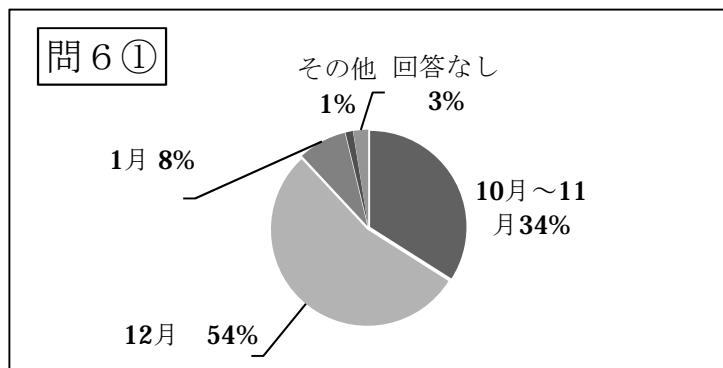
・すごろくの使用割合が92%と増加（配布のみも含む）。(R2:87%)  
 ・授業等で使用が増加。(R2:49%→R3:58%)

問6（問5で、「1」または「2」と回答いただいた方）

具体的に①いつ、②何の授業や教科で、③どのように使用されましたか（されますか）

（全体：159件）

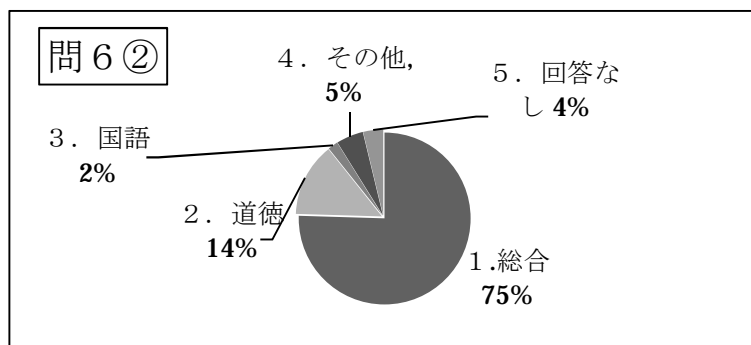
① いつ



① 10～11月	54件	34%
② 12月	86件	54%
③ 1月	13件	8%
④ その他	2件	1%
⑤ 回答なし	4件	3%

・使用した月は、おりがみ同様「12月」が最も多く、全体の54%を占めた。

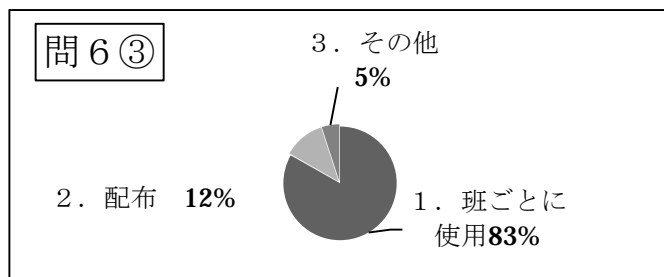
②何の授業や教科で



① 総合	120件	75%
② 道徳	22件	14%
③ 国語	3件	2%
④ その他	8件	5%
⑤ 回答なし	6件	4%

・おりがみと同様に「総合的な学習」が最も多かった。その他の回答としては、「朝のHR」などがあつた。

③どのように

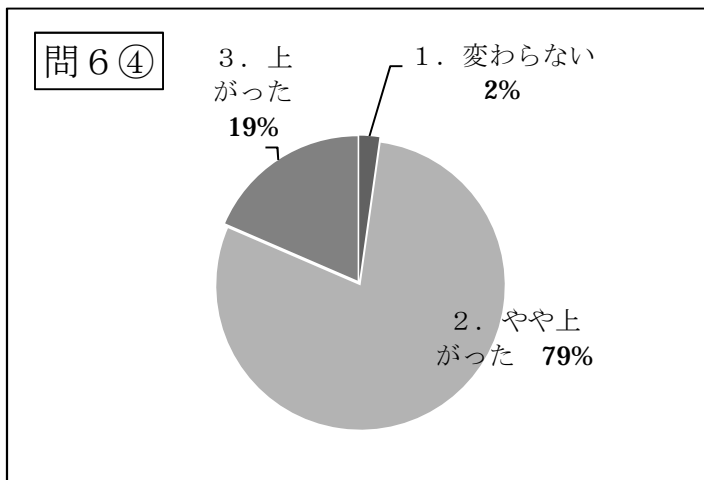


①班ごとにすぐろくをした	134件	83%
②宿題や自宅学習として配布した	19件	12%
③その他	8件	5%

※重複回答あり

・昨年度は新型コロナウイルスの影響により、密を避けるため班ごとでの使用が減少していたが、今年度は83%とコロナ前の照準に戻つた。（R1年度：75%・R2年度：68%）

④障がいに関する子どもの理解度は上がったと感じますか。



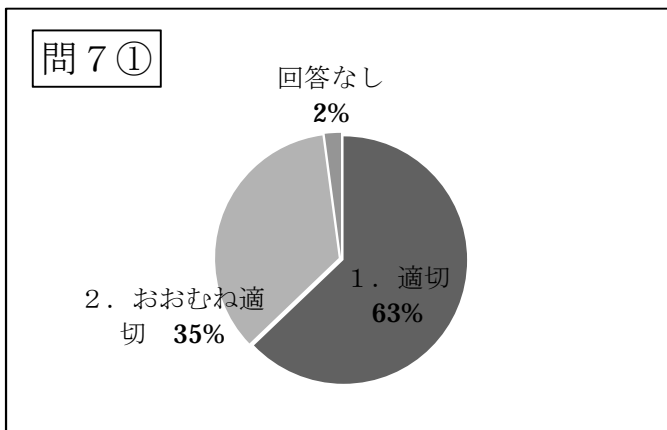
① 変わらない	3件	2%
② やや上がった	131件	81%
③ 上がった	25件	17%

・「上がった」「やや上がった」という回答が98%と、障がいに対する理解度は向上したと考えられる。

問7（おりがみ・すごろく全般について：全員ご回答ください）

掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など、全般的にご自由にご記入ください。

① 掲載内容について



① 適切	149件	63%
② おおむね適切	83件	35%
③ 回答なし	5件	2%

・内容については、「①適切」と「②おおむね適切」を合わせると98%を占めた。

## ②掲載内容について（自由記述、抜粋）

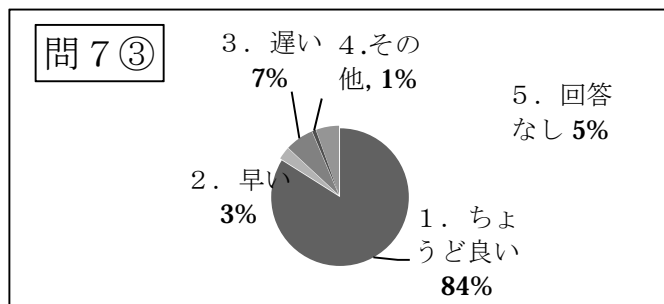
### <肯定的>

- カラーで分かりやすく、子供たちが親しみやすく、理解しやすい内容である。
- 障がいについて基本的なことを学ぶことができた。
- おりがみ、すごろくと楽しみながら学習ができた。
- 3年生には、マークなど見て分かるものへの説明が大事であり、学べてよかった。
- 子どもに分かりやすい言葉で書かれていた。
- カラーでイラストがかわいい。
- 絵や写真を多く、子どもの興味を引き理解を深める内容である。
- 国語の学習内容に関係しているものだったので、時期的にも内容的にも良かったです。
- 国語の単元「パラリンピックが目指すもの」とリンクしており伝えやすかった。
- 身近にあるマークやオストメイトなど、あまり目にしないマークもあったことで、興味を持って話を聞いていた。
- マークの学習ができ、暮らしの中で使える。
- しょうがいについてのパワーポイントもあったので、子どもたちがしっかり学習したあと、すごろく、おりがみで楽しむことができた。
- すごろくを通して知識を得ることができ、班で考えたりしていた。
- ”不自由”という言葉を使用せず表現しているところがよい。
- すごろくは、「見たことはあるけど何か知らない」という子供たちの興味をそそるクイズがあり、とても楽しみながら学んでいた。

### <否定的>

- 支援学級の児童に配布するには、障がい受容が難しい子供たちがいるので配布しにくいと感じた。（保護者感情も含めて）
- 授業ではなく配布のみで宿題や自宅学習と位置付けるなら、すごろくも人数分ほしいと思う。
- クイズの答えが小さくて確認しにくいので、別のプリントか、すごろくの裏に書いてあると見やすい。
- 漢字に読み仮名をつけてほしい。
- 色々な説明があるので、教師が生徒に伝える時には助かるが、情報量が多く、生徒が自分で読むにはむずかしい。

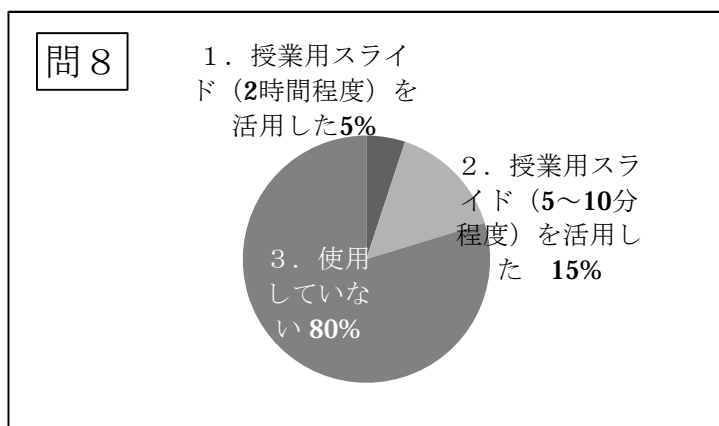
② 配布時期について



① ちょうどよい	199 件	84%
② 早い	7 件	3%
③ 遅い	16 件	7%
④ その他	2 件	1%
⑤ 回答なし	13 件	5%

・「ちょうどよい」という回答が8割を占める一方、「遅い」という回答には「もう少し早い時期に配布してもらえると、活用の仕方について計画しやすい。」という意見が複数挙がった。（また、「早い」という回答には、障がい者週間で活用したいという意見があったが、市町村によって10月中に届く学校もある。）市町村経由で配布するため、配布時期にはバラツキが出る。

問8 おりがみ・すごろくを有効活用していただくため、授業用スライド（2時間程度）及び授業用スライド導入版（5～10分程度）を作成しています。このスライドについて、活用されましたか。（活用される予定ですか）



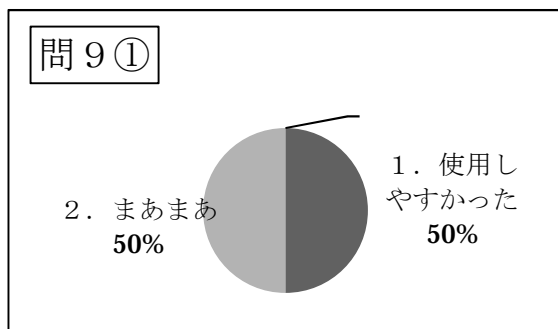
① 授業用スライド(2時間程度)を活用した(する)	12 件	5%
② 授業用スライド導入版(5～10分程度)を活用した(する)	36 件	15%
③ 使用していない	189 件	80%

・「使用していない」理由としては、昨年度同様新型コロナウイルス感染症による休校等のため「時間的に余裕がない」が一番多く、その他「知らなかった」等の意見があった。

問9（問8で、「1」と回答いただいた方）

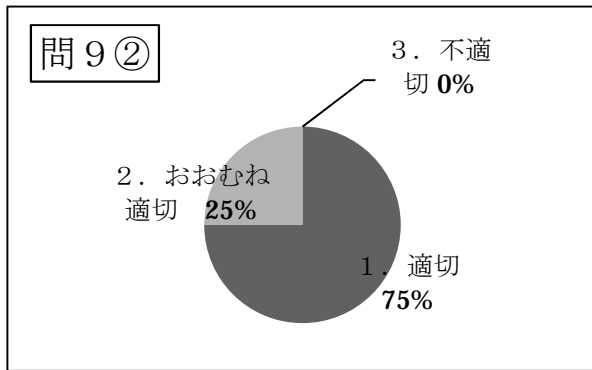
スライドについて、掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など全般的に、ご自由にご記入ください。

① 使用しやすさについて



① 使用しやすかった	6 件	50%
② まあまあ使用しやすかった	6 件	50%
③ 使用しにくかった	0 件	0%

②掲載内容について



① 適切	9件	75%
② おおむね適切	3件	25%
③ 不適切	0件	0%

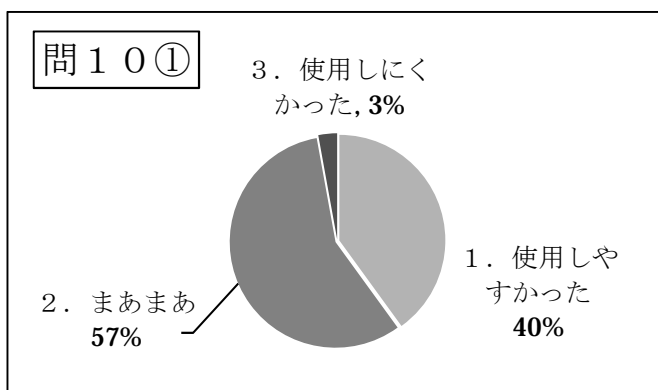
③スライドの内容について良かった点・改善すべき点等あればご記載ください。(自由記述、抜粋)

- ・授業としてすぐ使えるように、作成していただいているのがとてもありがたい。
- ・クイズ等で子どもたちに考えさせる内容で良い。

問10 (問8で、「2」と回答いただいた方)

スライドについて、掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など全般的に、ご自由にご記入ください。

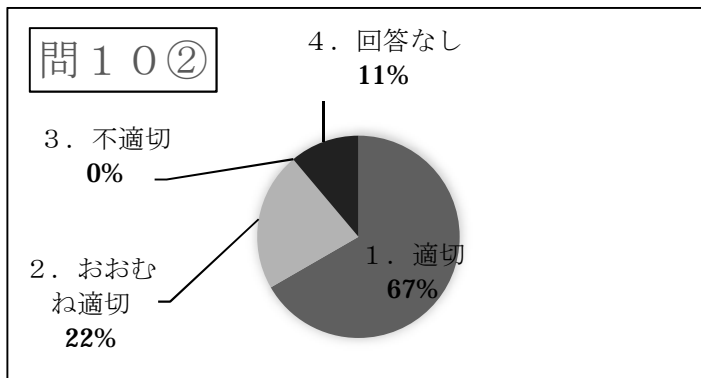
① 使用しやすさについて



① 使用しやすかった	14件	40%
② まあまあ使用しやすかった	21件	57%
③ 使用しにくかった	1件	3%

- ・使用しにくい意見としては、「小学3年生には文字量が多い」という回答があった。

② 掲載内容について



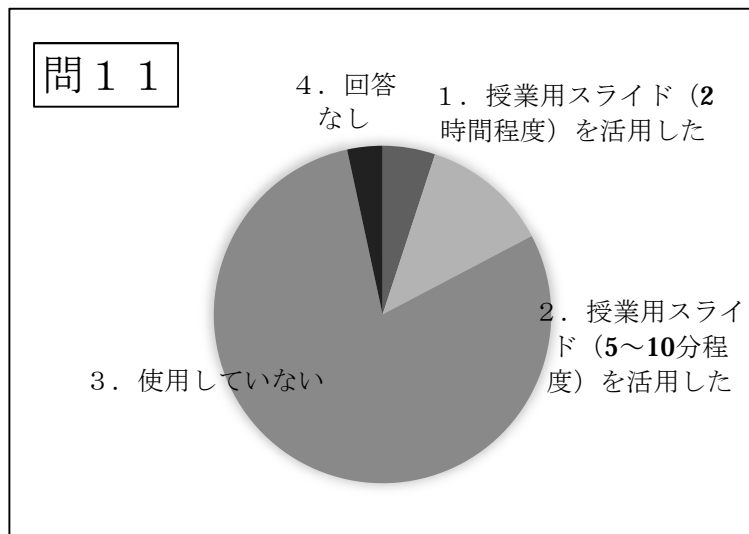
① 適切	24件	67%
② おおむね適切	8件	22%
③ 不適切	0件	0%
④ 回答なし	4件	11%

③ スライドの内容について良かった点・改善すべき点等あればご記載ください。(自由記述、抜粋)

- ・障がいはその人自身でなくまわりの環境にあることが伝えられた。
- ・子どもたちにもわかりやすかった。



問1 1 おりがみ・すごろくを有効活用していただくため、授業用シナリオ（2時間程度）及び授業用シナリオ導入版（5～10分程度）を作成しています。このシナリオについて、活用されましたか。（活用される予定ですか）



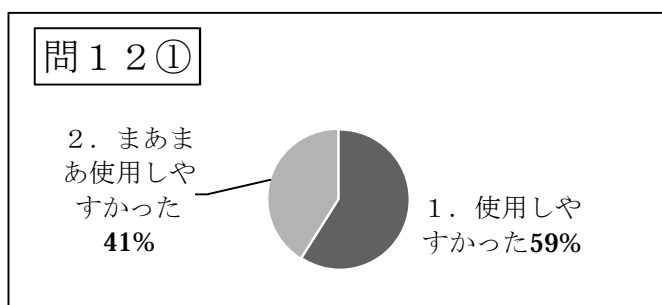
① 授業用スライド(2時間程度)を活用した	12 件	5%
② 授業用スライド導入版(5～10分程度)を活用した	29 件	12%
③ 使用していない	188 件	79%
④ 回答なし	8 件	3%

・「使用していない」理由としては、スライド同様、「時間的に余裕がない」が一番多く、その他「知らなかった」、「シナリオがなくても十分活用できた」等の意見があった。

問1 2（問1 2で、「1」または「2」と回答いただいた方）

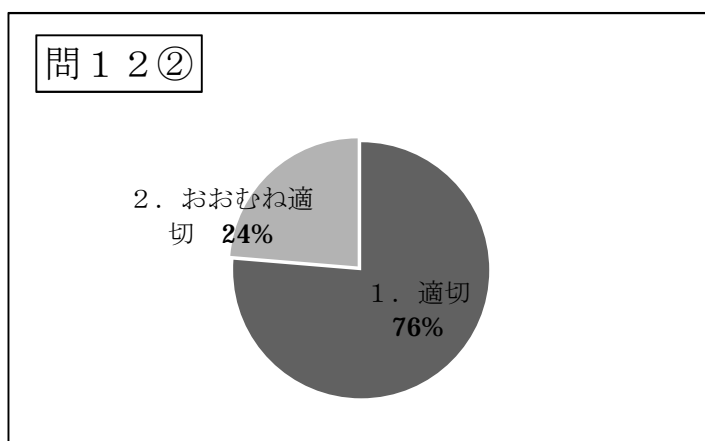
シナリオについて、掲載内容や、提供方法、その他良かった点・改善すべき点など全般的に、ご自由にご記入ください。

① 使用しやすさについて



① 使用しやすかった	25 件	59%
② まあまあ使用しやすかった	16 件	41%
③ 使用しにくかった	0 件	0%

② 掲載内容について



① 適切	30 件	73%
② おおむね適切	11 件	27%
③ 不適切	0 件	0%

障がい理解に関する教材のアイデア等、その他ご意見があればご記入ください。(自由記述、抜粋)

- ・堺市では、4年生で障がい理解について学習するので、4年生あてに送付いただけると多くの学校で活用できると思う。
- ・国語の教科書の「盲導犬の訓練」や「パラリンピックがめざすもの」等の教材の使用時期と重なるとなお使いやすいのではないか。
- ・ちょうど、国語で「パラリンピックの目指すもの」を学習していたので理解を深めるのに役立った。
- ・総合で障がい者理解を4年生で学習しているため、すぐろくは4年生にも刷って配布した。
- ・3年生で実施したが、4年生で障がい理解の学習を多く取り入れているので、4年生で実施した方がより児童の理解が深まるのではないか。
- ・「ふれあいおりがみ」「ふれあいすぐろく」を持ち帰ると、保護者から「うれしいです。普通校にも配布してほしいです」と連絡があり、府内の小3が持ち帰っていることを伝えると喜んでいました。(支援学校)
- ・ヘルプマークのタグなど、教材として見本があれば、子どもたちもより理解しやすかったと思います。
- ・おりがみやすぐろくを通して、障がいについて理解でき、良い教材だった。4年生でしっかりと学ぶ前の予習としては、内容などは適切だったと思います。
- ・歌やアニメなどは大好きな子供たちが多く、授業でも大いに活用できる。
- ・インタビュークイズなどを増やすと子どもたちにも楽しみながら学べるのではないか。またカードゲームのようにしても良いかと思う。
- ・ちょうど、国語で「パラリンピックの目指すもの」を学習していたので理解を深めるのに役立ちました！
- ・とても大切な内容だが、授業時数・授業内容に余裕がなく、十分に活用できない。
- ・知的障がいのある児童生徒向きには、町で見かける配慮が必要な人(小さな子ども、老人、妊婦等々)に優しくしようとか電車で席を譲りましょうとか場面を具体的にした提案をしてほしい。
- ・すぐろくに楽しく取り組み、町中でよく見かけるマークもあれば初めて見るマークもあり、興味を示し学習後、自主学習でマークについて調べる者もいた。



大阪ふれあいキャンペーン